

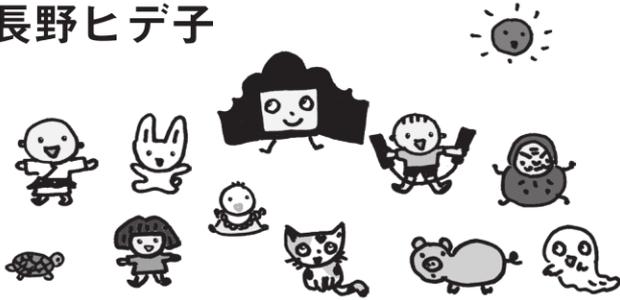
かこさとしの手作り紙芝居

原点はセツルメント時代

と私

協力：加古総合研究所・紙芝居文化推進協議会

長野ヒデ子



定価：本体800円＋税 A5判並製74頁
 発行所 石風社
 ISBN978-4-88344-307-9 C0095

紙芝居の持つゆったりした時間と 生身の声で演じる心地よさ——

目まぐるしく変わる時代に紙芝居の持つゆったりした時間と生身の声で演じる心地よさが見直されて、いまこそ紙芝居が求められているのだと思います。

大好きな加古里子さんの原点は川崎のセツルメント時代の手作り紙芝居にあることを知りました。それは私がアンデルセン賞国内選考にかかわったときに、加古さんに是非アンデルセン賞を願い、資料集めに取り掛かったのですが、加古さんの手作り紙芝居の作品に触れている資料がほとんどないことがわかったのです。その資料づくりに取り組み、また、ご本人からお話を伺うほどに、加古さんの原点は紙芝居にあることを知りました。

(「紙芝居の力に魅せられて あとがきにかえて」より)

長野ヒデ子 (ながの ひでこ) 1941～

1941年愛媛県生まれ。1976年『とうさんかあさん』（日本の絵本賞受賞）以来、何気ない生活の中から独特の世界を創りだしている絵本作家。主な絵本にロングセラーの『おかあさんがおかあさんになった日』、『せとうちたいごさんデパートいきタイ』『せとうちたいごさん、ふじさんのぼりタイ』のせとうちたいごさんシリーズや、『まんまんぱ!』（以上童心社）など。紙芝居に『ころころじゃぼーん』『びか！ころころおにパンツ』（以上童心社）など多数。紙芝居文化推進協議会会長。

かこさとしの手作り紙芝居

原点はセツルメント時代

と私

協力：加古総合研究所・紙芝居文化推進協議会

長野ヒデ子



石風社

紙芝居は 観るだけでなく 自分で演じて そして
つくってみると そのおもしろさが ぐんと深まります



【好評既刊】

演じてみよう
つくってみよう
紙芝居

長野ヒデ子 編
やべみつりのり
右手和子

定価：本体1300円＋税
A5判並製128頁
発行所 石風社

『かこさとしの手作り紙芝居と私』（定価880円）を [] 冊注文します

ご住所（〒 - ）

お名前

電話（ ）

ご注文先

お近くの書店でご注文ください。下記でも承っております（送料小社負担）

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-3-24-5階 石風社

FAX：092(725)3440 eメール：stone@sekifusha.com